

28年10月分 素材生産業者の活動・先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年 10月1日～ 28年10月10日

2. 調査実施方法

全国の素材生産業者に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

素材生産動向

| 品目 | | 28/10月 | 11月 | 12月 |
|----------|-------|--------|------|------|
| 伐採動向 | スギ | △ 10.0 | 10.0 | 0.0 |
| | ヒノキ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | △ 16.7 | 0.0 | 16.7 |
| | エゾ・トド | 25.0 | 25.0 | 0.0 |
| 出荷・販売動向 | スギ | 0.0 | 20.0 | 10.0 |
| | ヒノキ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | 0.0 | 16.7 |
| | エゾ・トド | 25.0 | 25.0 | 25.0 |
| 手持立木在庫動向 | スギ | 20.0 | 0.0 | 0.0 |
| | ヒノキ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | 0.0 | 33.3 |
| | エゾ・トド | 25.0 | 0.0 | 0.0 |

・スギの伐採は10月の減少が、11月は増加、12月は横ばい。ヒノキは3ヵ月連続して横ばい。カラマツは9月の台風の影響により10月の減少が、11月は横ばい、12月は増加。エゾ・トドは10月、11月の増加が12月は横ばい。

・スギ原木の出荷・販売は10月の横ばいが、11月、12月は増加。ヒノキは3ヵ月連続して横ばい。カラマツは10月、11月の横ばいが、12月は増加。エゾ・トドは3ヵ月連続して増加。

・スギの立木在庫は10月の増加が、11月、12月は横ばい。ヒノキは3ヵ月連続して横ばい。カラマツは10月、11月の横ばいが、12月は増加。エゾ・トドは10月の増加が、11月、12月は横ばい。

モニターからのコメント

(伐採動向)

- ・9月の台風の影響で作業道・林道の状況が悪いのと土壌が軟弱のため作業効率が落ちている。10月は天候の回復を期待して増加の予定(北海道)。
- ・森林再生事業で伐採中(東北)。

(出材・販売動向)

- ・10月は天候の回復を期待して増加の予定(北海道)。

(手持ち立木在庫)

- ・国有林の立木公売で購入予定でトドマツはやや増加(北海道)。
- ・9月立木購入、12月までに伐採(東北)。